

平成 26 年度国産畜産物安心確保等支援事業
(快適性に配慮した家畜の飼養管理推進事業)

ブロイラーの飼養実態アンケート調査報告書

平成 27 年 3 月

公益社団法人 畜産技術協会

目 次

I. 調査の目的	1
II. 調査の方法	1
III. 調査の結果	2
■ 基本事項	2
■ 飼養管理について	3
1. 観察・記録について	3
2. 給餌・給水について	4
3. 飼養環境について	7
4. 飼養施設について	10
5. 疾病・外傷等への対応	13
6. 外科的処置について	15
7. その他	16
アンケート調査用紙	19

I. 調査の目的

近年、アニマルウェルフェアは世界的に注目され、国際機関である OIE（国際獣疫事務局）において、肉用鶏のアニマルウェルフェア基準が採択され、ISO（国際標準化機構）では技術仕様書の検討が行われるなど、国際基準の作成に向けて様々な取り組みが進められている。

我が国では、平成 22 年度に「アニマルウェルフェアの考え方に対応した家畜の飼養管理指針」を取りまとめ、畜産関係者等に対して普及啓発を行ってきたが、国際機関等での検討や消費者等の関心が高まっていることから、今後、更に的確な対応が求められると考えられる。

そこで、今後のアニマルウェルフェアへの的確な対応に向けた検討を行う際の基礎資料として活用するため、本アンケート調査を実施した。

II. 調査の方法

本調査は、一般社団法人日本食鳥協会に委託して実施した。

調査に当たっては、平成 26 年 10 月 3 日付けで、一般社団法人日本食鳥協会の会員に調査票を送付し、農場毎の回答を得た。

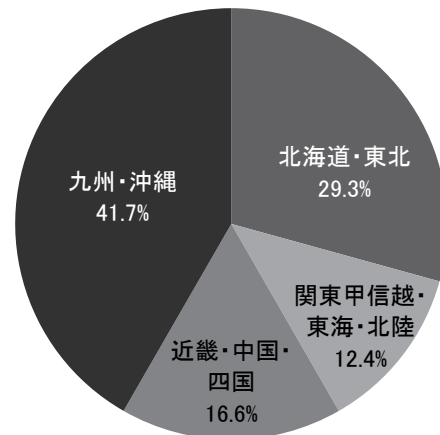
なお、アンケート回答数は、995 件であった。

Ⅲ. 調査の結果

■ 基本事項

1. 農場の所在地（都道府県名）をご記入ください

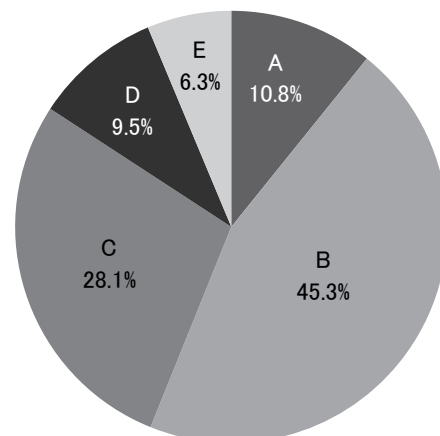
	件数	割合
A 北海道・東北	292	29.3%
B 関東甲信越・東海・北陸	123	12.4%
C 近畿・中国・四国	165	16.6%
D 九州・沖縄	415	41.7%
合計	995	100.0%



回答を得た農場を地域別にみると、「九州・沖縄」が415件で41.7%、「北海道・東北」が292件で29.3%と両地域で約70%を占め、次いで「近畿・中国・四国」が165件（16.6%）、「関東甲信越・東海・近畿」が123件（12.4%）であった。

2. 直近1年間の出荷羽数はどれにあてはまりますか

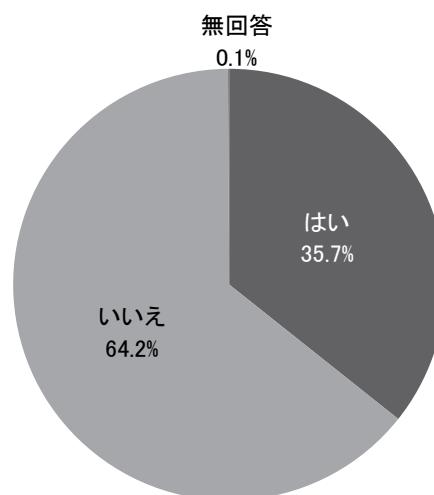
	件数	割合
A 5万羽未満	107	10.8%
B 5万羽以上20万羽未満	451	45.3%
C 20万羽以上50万羽未満	280	28.1%
D 50万羽以上100万羽未満	94	9.5%
E 100万羽以上	63	6.3%
合計	995	100.0%



直近1年間の出荷羽数は、「5万羽以上20万羽未満」が451件（45.1%）と最も多く、「20万羽以上50万羽未満」が280件（28.1%）であり、「5万羽以上50万羽未満」で全体の約75%を占めていた。

3. 平成23年3月に作成された「アニマルウェルフェアの考え方に対応したブロイラーの飼養管理指針」をご存知ですか

	件数	割合
A はい	355	35.7%
B いいえ	639	64.2%
C 無回答	1	0.1%
合計	995	100.0%



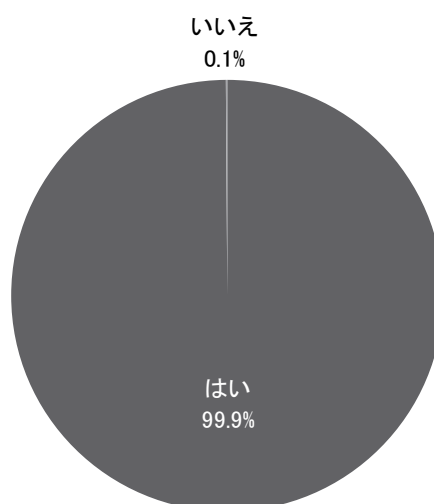
今回のアンケート結果では、「はい」が355件で35.7%、「いいえ」が639件で64.2%と、飼養管理指針を知っている農場は4割に満たず、現状ではあまり認知されていなかった。

■ 飼養管理

1. 観察・記録について

問1. 1日1回以上、鶏の健康状態を観察していますか

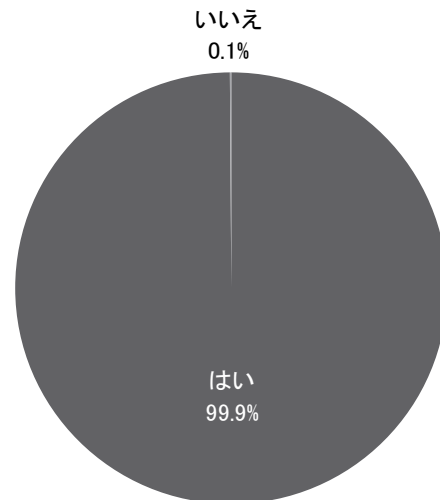
	件数	割合
A はい	994	99.9%
B いいえ	1	0.1%
合計	995	100.0%



「はい」と回答した農場は994件（99.9%）であり、ほぼすべての農場で1日1回以上、鶏の健康状態の観察を行っていた。

問2. 飼養管理（健康状態、病気や事故の発生の有無、治療やワクチン接種の履歴、死亡羽数等）に関する記録を毎日つけていますか

	件数	割合
A はい	994	99.9%
B いいえ	1	0.1%
合計	995	100.0%

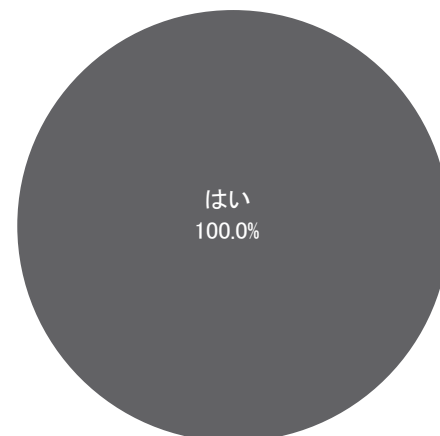


「はい」と回答した農場は994件（99.9%）であり、ほぼすべての農場で飼養管理に関する記録を毎日行っていた。

2. 給餌・給水について

問3. 鶏の発育段階等に応じた飼料を給与していますか

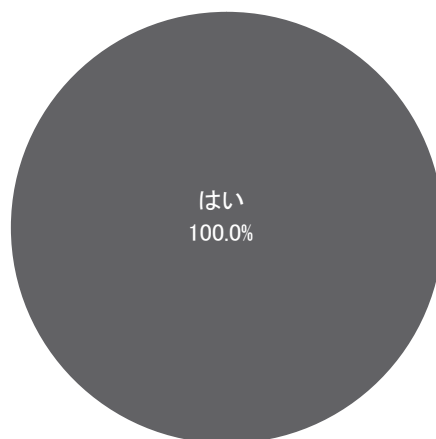
	件数	割合
A はい	995	100.0%
B いいえ	0	0%
合計	995	100.0%



回答のあったすべての農場で、発育段階に応じた飼料給与を行っていた。

問4. 毎日、新鮮な飼料と水を十分に給与していますか

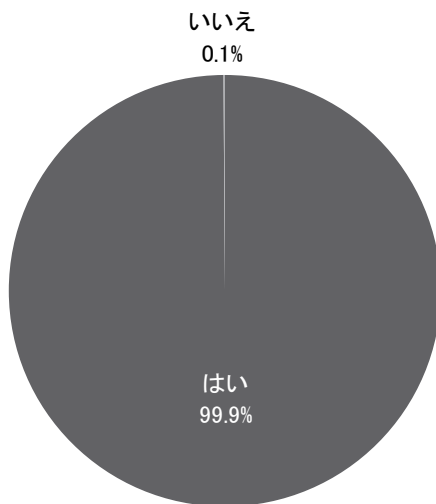
	件数	割合
A はい	995	100.0%
B いいえ	0	0%
合計	995	100.0%



回答のあったすべての農場で、鶏に毎日、新鮮な飼料と水の給与を十分に行っていた。

問5. 毎日、新鮮な飼料や水を給与するため、給餌・給水ラインや給餌・給水器等の点検・確認を行っていますか

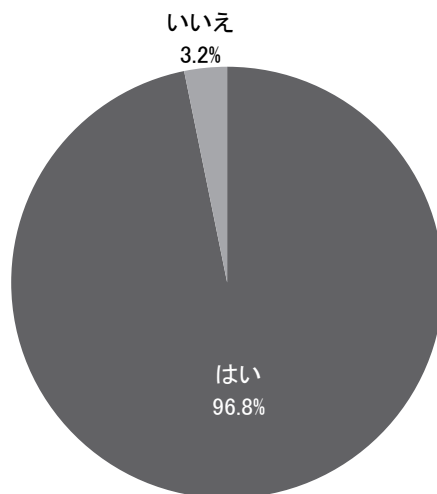
	件数	割合
A はい	994	99.9%
B いいえ	1	0.1%
合計	995	100.0%



ほぼすべての農場で、毎日、給餌・給水ライン等の設備の点検・確認を行っていた。

問6. 給餌器や給水器が、残渣や糞等で汚れた場合、清掃を行っていますか

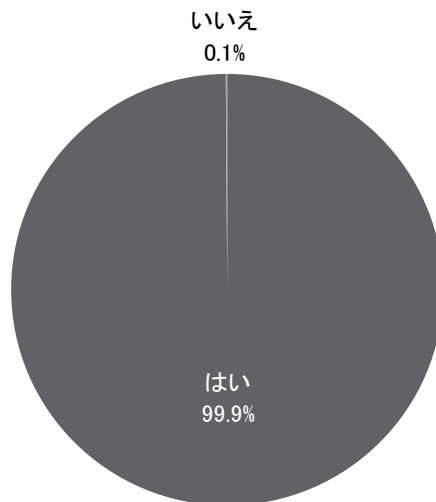
	件数	割合
A はい	963	96.8%
B いいえ	32	3.2%
合計	995	100.0%



給餌器や給水器が汚れた場合の清掃については、963 件の農場が「行っている」と回答し、96.8%を占めた。「行わない」と回答した農場は 32 件（3.2%）であった。

問7. 鶏が不自由なく飼料を食べたり、水を飲んだりできていますか

	件数	割合
A はい	994	99.9%
B いいえ	1	0.1%
合計	995	100.0%

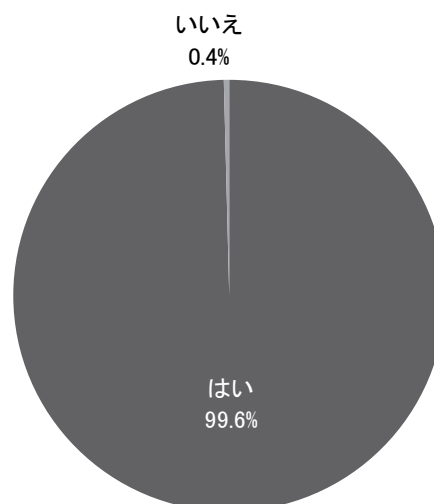


ほぼすべての農場で、鶏が不自由なく飼料摂取、飲水できる環境で飼育を行っていた。

3. 飼養環境について

問8. 暑熱対策を行っていますか

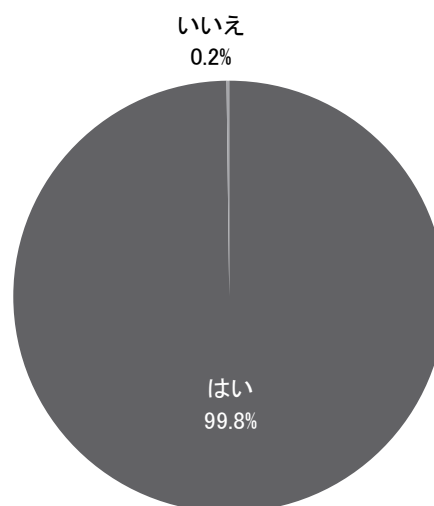
	件数	割合
A はい	991	99.6%
B いいえ	4	0.4%
合計	995	100.0%



暑熱対策については、991件の農場が「行っている」と回答し、99.6%を占めた。「行っていない」と回答した農場は4件（0.4%）であった。

問9. 寒冷対策を行っていますか

	件数	割合
A はい	993	99.8%
B いいえ	2	0.2%
合計	995	100.0%

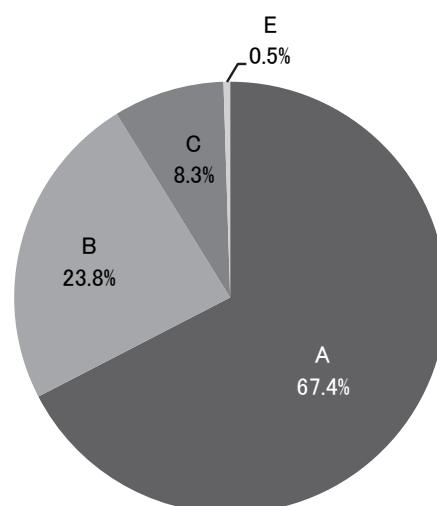


寒冷対策については、993件の農場が「行っている」と回答し、99.8%を占めた。「行っていない」と回答した農場は2件（0.2%）であった。

僅かではあるが、暑熱対策より寒冷対策を行っている農場のほうが多かった。

問 10. 鶏舎内の空調設備や照明設備等の点検・整備は行っていますか

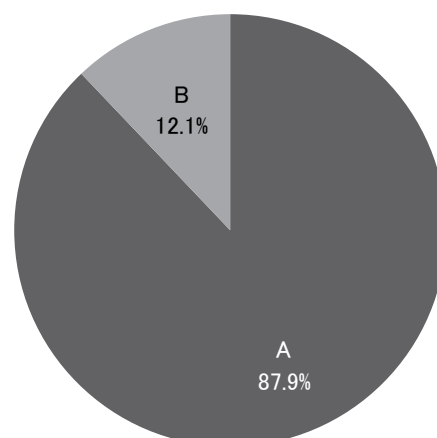
	件数	割合
A 定期的に点検・整備している	670	67.4%
B 使う必要がある際に点検・整備している	237	23.8%
C 点検は行っていないが、壊れたら整備している	83	8.3%
D 点検・整備はせず、壊れたままになっている	0	0%
E 無回答	5	0.5%
合計	995	100.0%



鶏舎内の空調・照明設備等の点検整備については、「定期的に行っている」と回答した農場が 670 件 (67.4%)、「使用時に行う」と回答した農場が 237 件 (23.8%) で、「点検・整備を行っている」農場は併せて約 90%を占めた。「特に点検は行わないが、壊れた際に整備する」との回答が 83 件 (8.3%) あり、無回答を除けば、すべての農場で設備の整備が行われていた。

問 11. 鶏舎内の明るさは確保できていますか

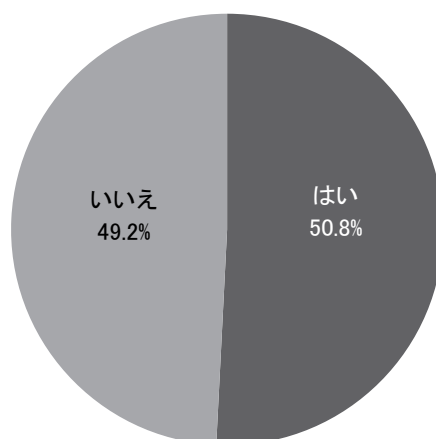
	件数	割合
A 照明器具の設置や窓の開閉などにより十分に確保できている	875	87.9%
B 多少暗いものの鶏の活動や管理者が作業を行う分には問題がない	120	12.1%
C 暗いが、そのままにしている	0	0%
合計	995	100.0%



鶏舎内の明るさについては、「照明器具等で明るさを十分確保している」と回答した農場は 875 件で 87.9%、「多少暗いが鶏の活動や管理者の作業には支障がない」と回答した農場は 120 件 (12.1%) で、すべての農場で鶏の活動や飼育管理作業等に差し支えのない明るさが確保されていた。

問 12. 鶏舎内の光線管理を行っていますか

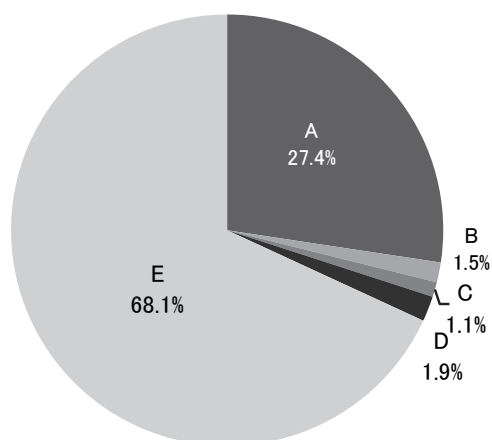
	件数	割合
A はい	505	50.8%
B いいえ	490	49.2%
合計	995	100.0%



鶏舎内の光線管理については、「行っている」と回答した農場は 505 件 (50.8%)、「行っていない」と回答した農場は 490 件 (49.2%) とほぼ半数ずつであった。

問 13. 24 時間のうち、暗期の設定時間は、どれに当てはまりますか

	件数	割合
A 4 時間以上	273	27.4%
B 3～4 時間	15	1.5%
C 2～3 時間	11	1.1%
D 1～2 時間	19	1.9%
E 設定していない	677	68.1%
合計	995	100.0%



鶏舎の「暗期を設定していない」と回答した農場は 677 件 (68.1%) と約 70%を占めた。「暗期を設定をしている」農場は合計 318 件 (31.9%) でであった。

暗期の設定時間については、「4 時間以上」が 273 件 (27.4%) と最も多く、「1～2 時間」、「2～3 時間」、「3～4 時間」と回答した農家は併せて 45 件 (4.5%) と僅かであった。

暗期を設定している農場のうち、約 86%は 4 時間以上の暗期を設けて管理を行っていた。

4. 飼養施設について

問 14. 農場内の鶏舎の種類別棟数をお答えください

◆鶏舎タイプ◆（複数回答可）

	農場数	合計棟数	平均棟数	保有棟数	
				最多	最少
A 開放鶏舎	655	3,861	5.9	36	1
B セミウインドウレス鶏舎	84	613	7.3	26	1
C ウインドウレス鶏舎	348	10,519	30.2	197	1

※ 保有棟数については、グループ全体が保有する棟数を回答してきたと考えられるものもあり、ウインドウレス鶏舎の合計及び平均棟数が過大になっているのではないかと推測される。

◆鶏舎タイプごとの飼養形態◆（複数回答可）

	ケージ	平飼い	その他	計
A 開放鶏舎	0 (0%)	655 (60.3%)	0 (0%)	655 (60.3%)
B セミウインドウレス鶏舎	0 (0%)	84 (7.7%)	0 (0%)	84 (7.7%)
C ウインドウレス鶏舎	1 (0.1%)	347 (31.9%)	0 (0%)	348 (32.0%)
計	1 (0.1%)	1,086 (99.9%)	0 (0%)	1,087 (100.0%)

鶏舎タイプでは、「開放鶏舎」を保有する農場が 655 件（60.3%）と最も多く、「ウインドウレス鶏舎」の 348 件（32.0%）がこれに次いだ。また、回答のあった農場について、鶏舎別の飼養形態をみると、どのタイプの鶏舎でも、ほぼすべてが「平飼い」（99.9%）であり、「ケージ飼い」は「ウインドウレス鶏舎」の 1 件のみであった。

問 15. 最も多く保有されている鶏舎タイプにおける、出荷時の坪当たり飼養羽数、重量をお答えください。

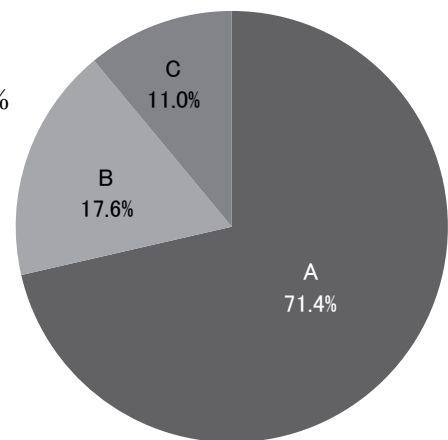
(1) 出荷時の坪当たり飼養羽数

	件数	割合
A 55羽未満	710	71.4%
B 55羽以上 60羽未満	175	17.6%
C 60羽以上	110	11.0%
D 無回答	0	0%
合計	995	100.0%

羽数/坪	
平均	52.55
最多	75
最少	13
標準偏差	8.57

出荷時の坪当たり飼養羽数は、「55羽未満」が710件で70%を超えており、「55羽以上 60羽未満」が175件(17.6%)、「60羽以上」が110件(11.0%)であった。

坪当たりの羽数は、最多が75羽、平均が52.55羽であった。



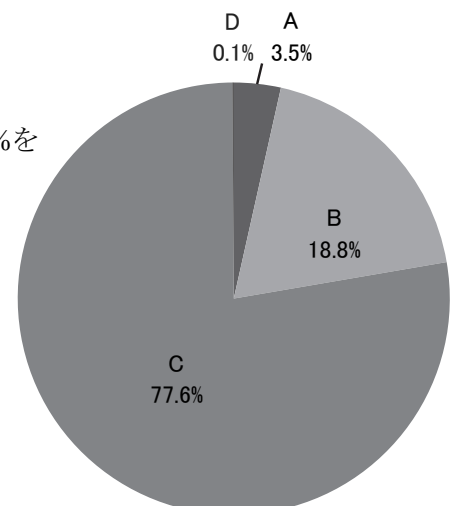
(2) 出荷時の坪当たり重量

	件数	割合
A 109kg未満	35	3.5%
B 109kg以上 142kg未満	187	18.8%
C 142kg以上	772	77.6%
D 無回答	1	0.1%
合計	995	100.0%

kg/坪	
平均	154.30
最大	195
最小	7
標準偏差	20.68

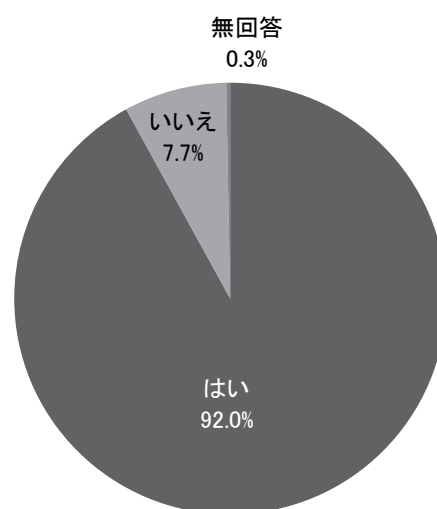
出荷時の坪当たり重量は、「142kg以上」が772件で77.6%を占め、「109kg以上 142kg未満」が187件(18.8%)、「109kg未満」が35件(3.5%)であった。

坪当たり重量は、最大値が195kg、平均が154.30kgであった。



問 16. 敷料を利用していますか

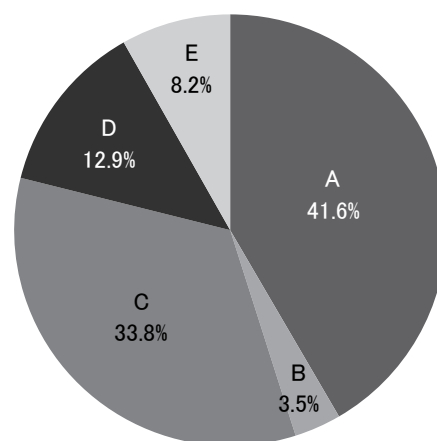
	件数	割合
A はい	915	92.0%
B いいえ	77	7.7%
C 無回答	3	0.3%
合計	995	100.0%



敷料の利用については、「はい」と回答した農場が 915 件 (92.0%) であり、「いいえ」と回答した農場が 77 件 (7.7%) で、敷料を利用している農場が 90%以上を占めていた。

問 17. 敷料の管理方法は、どれに当てはまりますか

	件数	割合
A 敷料の状態が悪くなる前に攪拌作業を行っている	414	41.6%
B 敷料の状態が悪くなる前に交換している	35	3.5%
C 乾燥した敷料を追加している	336	33.8%
D 特に管理していない	128	12.9%
E その他	82	8.2%
合計	995	100.0%

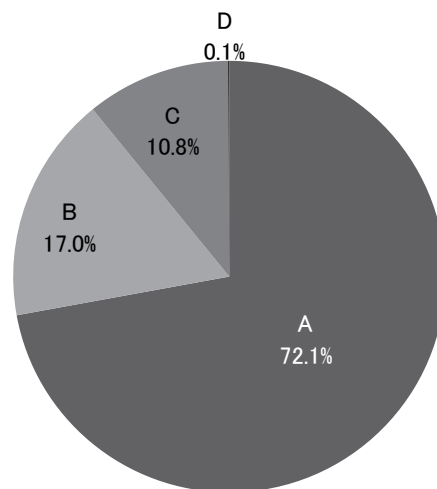


敷料管理方法については、「状態が悪くなる前に攪拌する」が 414 件 (41.6%) で最も多く、次いで、「乾燥した敷料を追加する」が 336 件 (33.8%)、「状態が悪くなる前に交換する」が 35 件 (3.5%) となっており、敷料の状態が悪くなる前に管理を行う農場があわせて約 80%近くを占めた。「特に管理していない」は 128 件で 12.9%であった。

5. 疾病・外傷等への対応

問 18. 鶏の怪我や疾病が発生した場合、迅速な治療等を行っていますか

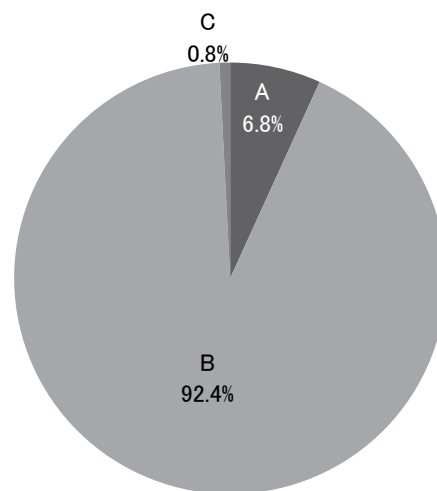
	件数	割合
A 行っている	718	72.2%
B 多少の外傷や症状が軽ければ経過を見て、悪化したら治療している	169	17.0%
C 行っていない	107	10.8%
D 無回答	1	0.1%
合計	995	100.0%



鶏の怪我や疾病への対応については、「行っている」と回答した農家が 718 件 (72.2%) と最も多く、次いで「悪化したら治療する」が 169 件 (17.0%) となっており、両者をあわせた約 90% の農場で治療等が行われていた。とくに対応していない農場は 107 件と 10%程度であった。

問 19. 外傷や疾病の鶏が出た場合に他の鶏と分けて管理していますか

	件数	割合
A 重症の場合、単房などに入れて分けて管理している	68	6.8%
B 分けていない	919	92.4%
C 無回答	8	0.8%
合計	995	100.0%



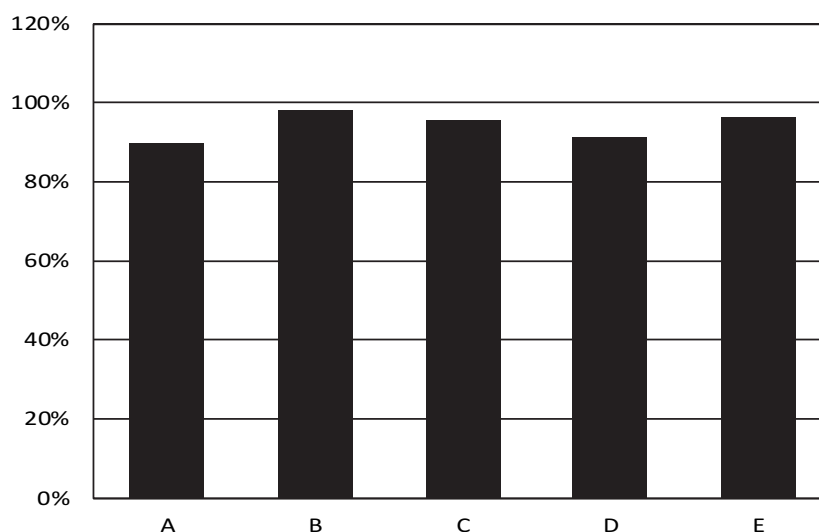
外傷や疾病の鶏が出た場合の管理については、「重症の場合、他の鶏と分けて管理する」と回答した農場は 68 件 (6.8%) であり、「分けていない」と回答した農場は 919 件 (92.4%) であった。

問 18・19 の結果から、怪我や疾病の治療は行おうが、とくに他の鶏と分けて管理は行わない農場が多数であると推察された。

問 20. 農場内に病原体等を侵入させないための防疫対策をとっていますか（複数回答可）

	件数	割合	順位
A 車両消毒等の防疫施設を設置している	894	89.8%	5
B 踏込消毒層を鶏舎の出入口に置くなどの防疫対策を心がけている	975	98.0%	1
C 消石灰の散布を行っている	950	95.5%	3
D 鶏舎内に野生動物が侵入しないようにネット等を張っている	908	91.3%	4
E 外部者の出入り規制を行っている	958	96.3%	2
F 鶏舎毎の衣服・長靴等の交換を行っている	730	73.4%	6
G その他	106	10.7%	7
H 行っていない	0	0%	

※ 回答農場数 995 を母数とした。

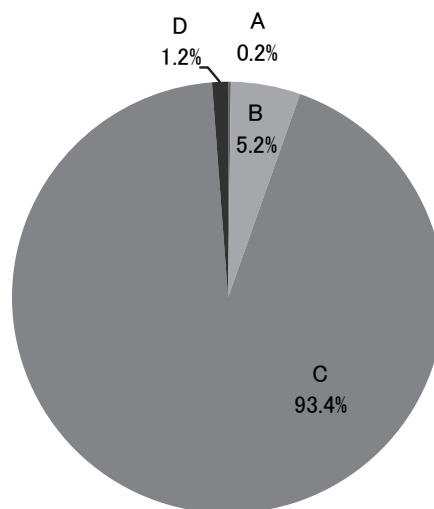


防疫対策として、「踏込消毒層の設置」と回答した農場が 975 件（98.0%）と最も多く、次いで、「外部者の出入り規制」が 958 件（96.3%）、「消石灰の散布」が 950 件（95.5%）、「野生動物対策のためのネット張り」が 908 件（91.3%）、「車両消毒等の防疫施設設置」が 894 件（89.8%）と、高い意識をもって防疫対策を実施している結果となった。

6. 外科的処置について

問 21. ビークトリミングを行っていますか

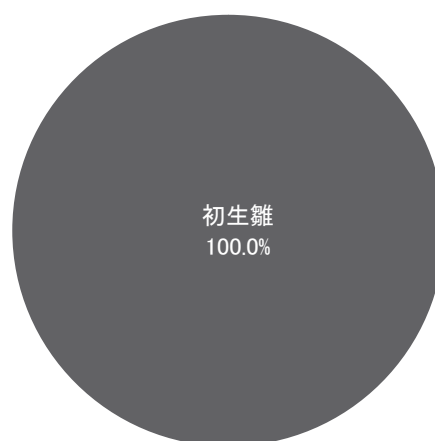
	件数	割合
A 素ひな導入時に行っている	2	0.2%
B 導入時にすでに行われている	52	5.2%
C 行っていない	929	93.4%
D 無回答	12	1.2%
合計	955	100.0%



ビークトリミングについては、「行っていない」と回答した農場が 929 件と 90%以上を占めていた。「行っている」と回答した農場は 54 件と全体の約 5%程度と少なく、そのうち、ほとんどの農場では、すでにビークトリミングが行われている雛を導入しているとの回答であった。

問 22. ビークトリミングを行っている場合、通常、実施する時期はいつですか

	件数	割合
A 初生雛	42	100%
B 5日齢前後	0	0%
C 幼雛	0	0%
D 中雛	0	0%
E 大雛	0	0%
合計	42	100.0%

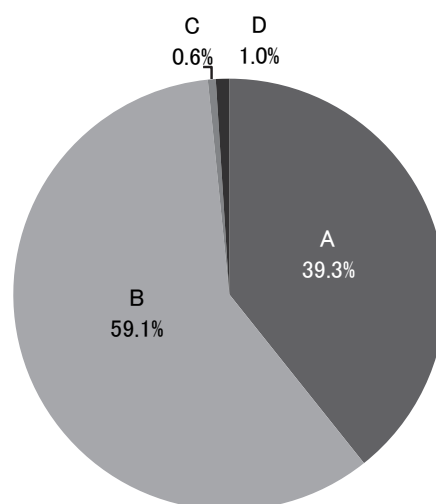


回答のあったすべての農場で、ビークトリミングは初生雛の時期に実施されていた。

7. その他

問 23. 管理者が鶏舎内に入ったとき、鶏はどのような反応をしますか

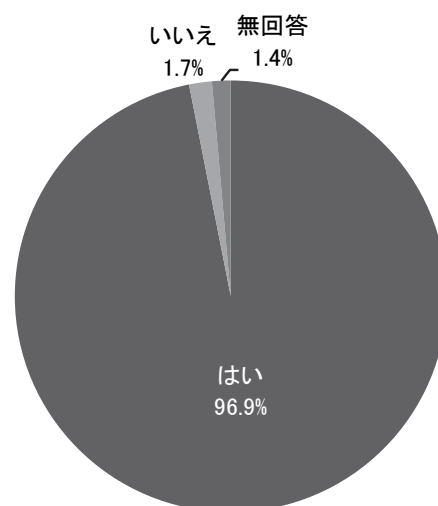
	件数	割合
A 騒がず、大人しい	391	39.3%
B 入った際には驚くが、その後すぐ静かになる	588	59.1%
C 入っている間、ずっと騒いでいる	6	0.6%
D 無回答	10	1.0%
合計	995	100.0%



管理者が鶏舎内に入ったときの鶏の反応については、「騒がず大人しい」が 391 件 (39.3%)、「すぐ静かになる」が 588 件 (59.1%) と、入場者があってもすぐに鶏が落ち着く農場がほとんどで、「ずっと騒いでいる」は 6 件 (0.6%) とごく僅かであった。

問 24. 捕鳥する際、鶏が怪我等をしないように注意して作業を行っていますか

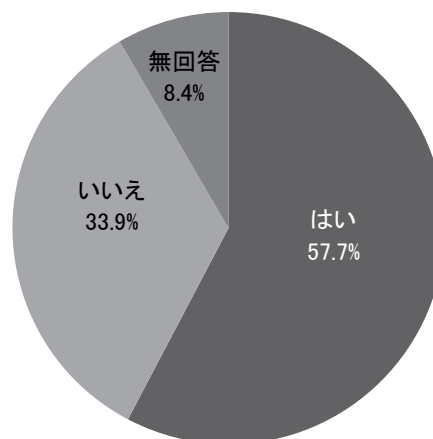
	件数	割合
A はい	964	96.9%
B いいえ	17	1.7%
C 無回答	14	1.4%
合計	995	100.0%



「怪我等に注意して捕鳥している」と回答した農場が 964 件 (96.9%) で、ほとんどの農場で鶏が怪我等をしないように留意して作業を行っていた。

問 25. 将来的に農場での飼養管理を考える際に、アニマルウェルフェアを検討する必要がある
 と思いますか

	件数	割合
A はい	574	57.7%
B いいえ	337	33.9%
C 無回答	84	8.4%
合計	995	100.0%



将来的なアニマルウェルフェアの検討については、「はい（必要）」と回答した農場が 574 件（57.7%）、「いいえ（不要）」と回答した農場が 337 件（33.9%）であり、60%程度の農場は将来的にアニマルウェルフェアの検討が必要と考えている。

※ 基本事項の「アニマルウェルフェアの考え方に対応したブロイラーの飼養管理指針を知っていますか」との問いと問 25 との関係を調べた結果、下表のとおりであった。

		アニマルウェルフェアの考え方に対応したブロイラーの飼養管理指針を知っていますか			
		はい	いいえ	無回答	計
将来的に農場での飼養管理を考える際に、アニマルウェルフェアを検討する必要があると思いますか	はい	215 (21.6%)	358 (36.0%)	1 (0.1%)	574 (57.7%)
	いいえ	63 (6.4%)	274 (27.5%)	0 (0%)	337 (33.9%)
	無回答	77 (7.7%)	7 (0.7%)	0 (0%)	84 (8.4%)
	計	355 (35.7%)	639 (64.2%)	1 (0.1%)	995 (100.0%)

「飼養管理指針の認知」と「将来的な検討の必要性」をあわせてみると、飼養管理指針を知っている・知らないにかかわらず、将来的なアニマルウェルフェアの検討が必要とする農場数が、検討不要とする農場よりも多かった。また、飼養管理指針を知っている農場で検討不要との回答を示した農家は 63 件（6.4%）と僅かであった。

ブロイラーの飼養実態アンケート調査

■ 基本事項

1. あなたの農場の所在地（都道府県名）を下線部にご記入ください

⇒ _____

2. 直近1年間の出荷羽数は、次のどれにあてはまりますか（○は1つ）

- ① () 5万羽未満
- ② () 5万羽以上 20万羽未満
- ③ () 20万羽以上 50万羽未満
- ④ () 50万羽以上 100万羽未満
- ⑤ () 100万羽以上

3. 平成22年3月に作成された「アニマルウェルフェアの考え方に対応したブロイラーの飼養管理指針」をご存知ですか（○は1つ）

- ① () はい
- ② () いいえ

■ 飼養管理について、お伺いします

I 観察・記録について

問1. 1日1回以上、鶏の健康状態を観察していますか（○は1つ）

- ① () はい
- ② () いいえ

問2. 飼養管理（健康状態、病気や事故の発生の有無、治療やワクチン接種の履歴、死亡羽数等）に関する記録を毎日つけていますか（○は1つ）

- ① () はい
- ② () いいえ

II 給餌・給水について

問3. 鶏の発育段階等に応じた飼料を給与していますか（○は1つ）

- ① () はい
- ② () いいえ

問4. 毎日、新鮮な飼料と水を十分に給与していますか（○は1つ）

- ① () はい
- ② () いいえ

問5. 毎日、新鮮な飼料や水を給与するため、給餌・給水ラインや給餌・給水器等の点検・確認を行っていますか（○は1つ）

- ① () はい
- ② () いいえ

問 6. 給餌器や給水器が、残渣や糞等で汚れた場合、清掃を行っていますか（○は1つ）

- ① () はい
- ② () いいえ

問 7. 鶏が不自由なく飼料を食べたり、水を飲んだりできていますか（○は1つ）

- ① () はい
- ② () いいえ

Ⅲ 飼養環境について

問 8. 暑熱対策を行っていますか（○は1つ）

- ① () はい
- ② () いいえ

問 9. 寒冷対策を行っていますか（○は1つ）

- ① () はい
- ② () いいえ

問 10. 鶏舎内の空調設備や照明設備等の点検・整備は行っていますか（○は1つ）

- ① () 定期的に点検・整備している
- ② () 使う必要がある際に点検・整備している
- ③ () 点検は行っていないが、壊れたら整備している
- ④ () 点検・整備はせず、壊れたままになっている

問 11. 鶏舎内の明るさは確保できていますか（○は1つ）

- ① () 照明の設置や窓の開閉などにより確保できている
- ② () 多少暗いものの、鶏の活動や管理者が作業を行う分には問題がない
- ③ () 暗いが、そのままにしている

問 12. 鶏舎内の光線管理を行っていますか（○は1つ）

- ① () はい
- ② () いいえ

問 13. 24 時間のうち、暗期の設定時間は、次のどれに当てはまりますか（○は1つ）

- ① () 4 時間以上
- ② () 3～4 時間
- ③ () 2～3 時間
- ④ () 1～2 時間
- ⑤ () 設定していない

IV 飼養施設について

問 14. 農場内の鶏舎の種類別棟数を表の下線部にご記入ください

飼養形態 鶏舎タイプ	ケージ	平飼い	その他
開放鶏舎	_____棟	_____棟	_____棟
セミウインドウレス鶏舎	_____棟	_____棟	_____棟
ウインドウレス鶏舎	_____棟	_____棟	_____棟

問 15. 最も多く保有されている鶏舎タイプにおける、出荷時の坪当たり飼養羽数、重量を
下線部にご記入ください。

① 飼養羽数 ⇒ _____羽/坪

② 重 量 ⇒ _____kg/坪

問 16. 敷料を利用していますか（○は1つ）

- ① () はい
② () いいえ

問 17. 敷料の管理方法は、次のどれに当てはまりますか（○は1つ）

- ① () 敷料の状態が悪くなる前に攪拌作業を行っている
② () 敷料の状態が悪くなる前に交換している
③ () 乾燥した敷料を追加している
④ () 特に管理していない
⑤ () その他（具体的に：_____）

V. 疾病・外傷等への対応

問 18. 鶏の怪我や疾病が発生した場合、迅速な治療等を行っていますか（○は1つ）

- ① () 行っている
② () 多少の外傷や症状が軽ければ経過を見て、悪化したら治療している
③ () 行っていない

問 19. 外傷や疾病の鶏が出た場合に他の鶏と分けて管理していますか（○は1つ）

- ① () 重症の場合、単房などに入れて分けて管理している
② () 分けていない

問 20. 農場内に病原体等を侵入させないための防疫対策をとっていますか（複数回答可）

- ① () 車両消毒等などの防疫施設を設置している
- ② () 踏込消毒槽を鶏舎の出入口に置くなどの防疫対策に心がけている
- ③ () 消石灰の散布を行っている
- ④ () 鶏舎内に野生動物が侵入しないようにネット等を張っている
- ⑤ () 部外者の農場内への出入規制
- ⑥ () 鶏舎毎の衣服、長靴等の交換
- ⑦ () その他（具体的に： _____）
- ⑧ () 行っていない

VI. 外科的処置等について

問 21. ビークトリミングを行っていますか（○は1つ）

- ① () 素ひな導入時に行っている
- ② () 導入時にすでに行われている
- ③ () 行っていない

問 22. ビークトリミングを行っている場合、通常、実施する時期はいつですか（○は1つ）

- ① () 初生雛
- ② () 5日齢前後
- ③ () 幼雛
- ④ () 中雛
- ⑤ () 大雛

VII. その他

問 23. 管理者が鶏舎内に入ったとき、鶏はどのような反応をしますか（○は1つ）

- ① () 騒がず、大人しい
- ② () 入った際には驚き騒ぐが、その後すぐに静かになる
- ③ () 入っている間、ずっと騒いでいる

問 24. 捕鳥する際、鶏が怪我等をしないように注意して作業を行っていますか（○は1つ）

- ① () はい
- ② () いいえ

問 25. 将来的に農場での飼養管理を考える際に、アニマルウェルフェアを検討する必要があると思いますか（○は1つ）

- ① () はい
- ② () いいえ

ご協力ありがとうございます。